広報 はちまんたい hachimantai
Jul.2020 No.301
令和2年7月9日発行（毎月第2木曜日発行）
〒028-7397岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
■ホームページ https://www.city.hachimantai.lg.jp
■発行 岩手県八幡平市 ☎0195-74-2111 FAX0195-74-2102
■印刷 川口印刷工業株式会社
■編集 企画財政課

キラリ輝人（ひかりびと）84

押し相撲を極めた先に、十両を見据える

大相撲・阿武松部屋入門
桑原 英男 さん
くわばら・ひでお 18歳

平成13年生まれ。滝沢市出身。両親、姉の４人家族で、実家は和牛繁殖農家。柳沢小・中を卒業後、平舘高に入学。好きな食べ物はごはんで、高校時代は下宿を共にした仲間と２人で毎日１升を平らげていた。稽古がない休日は温泉に行ったり、寝たりとのんびり過ごす。身長175㌢、体重165㌔。

６月の夕暮れ、平舘高相撲場に同校をこの４月に卒業した桑原英男さんの姿があった。当初５月場所にデビューの予定だったが、新型コロナウイルスの影響で新弟子検査も延期となり、寺田道場の稽古で汗を流していた。

高校では全国高総体と国体に３年連続で出場した。高校３年の東北高校相撲選手権大会で、個人・団体ともに２位の成績を残すも、全国大会での成績が振るわず大学進学を断念。実家を継ぐことを考えていたが、角界入りをあきらめきれずに挑戦を決意した。

相撲は小学２年の時、地元の相撲大会に出場したことがきっかけで始めた。中学卒業までの８年間、滝沢相撲クラブに所属。高校進学を悩んでいた時に、同校相撲部コーチで寺田道場の監督を務める遠藤良貴さんの誘いで入学を決めた。遠藤さん宅に下宿していた高校時代を振り返り「料理がおいしくて、相撲以外にも、あいさつや返事など人として大切なことを教えてもらった」と感謝を示す。

小さな体ながら、どっしりとした前への突き押しを得意とする同部屋の阿武咲（おうのしょう）と大関貴景勝（たかけいしょう）の取り組みを参考にしている。「大相撲の世界では、これまでのようにまわしは取らせてもらえない。まずは押し相撲を極めたい」と闘志を燃やす。十両を見据え、今日も鉄砲柱に向かって左右の突っ張りを繰り返し、体に叩き込ませる。

鉄砲柱に突っ張りをする桑原さん。「バシンッ、バシンッ」と重い音が繰り返し相撲場に響く

■編集後記

▽空き家の記事を担当しました。他人事ではないこの問題。「一度空き家について考え、話し合い、行動に移しましょう。」と自分で書いた文章に「ウチもな」と自分でツッコミを入れて悲しくなりました。同じ悩みを抱える人が、記事を読んで行動するきっかけになってくれたらありがたいです。（多）

▽寺田小田植え体験の取材に行ってきました。本職の新聞記者さんと一緒に長靴で田んぼに入りましたが、ふと気づいたら記者さんは裸足になっていて、素早く移動しながら撮影してました。勝ち負けなんて無いんです。無いんですが、なぜか負けた気がしました。（吾）

【広　告】
岩手県北バス
バス運転士になりませんか？

若手運転士 女性運転士 活躍中
岩手県北自動車株式会社 八幡平営業所
八幡平市大更18-88-99
バスのご用命承ります
お問い合わせ TEL.019-641-7772（本社）

※広報はちまんたい７月９日号（№301）の印刷経費は１部71.5円、発行部数は10,080部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、㈱総合広告社（☎019-626-3370）まで。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C023138